



万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部ニュース

News of Japan Chapter of International Society of Surgery

発行：万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部外科科学教室
TEL:03-5363-3802 FAX:03-3355-4707
発行者：今野弘之
編集責任：万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部事務局長
和田則仁 (慶應義塾大学医学部外科科学教室)
印刷：株式会社 dig TEL:03-3551-3060
年2回発行 1995年4月創刊

私と万国外科学会

千葉大学大学院医学研究院
先端応用外科学 教授

松原 久裕



私が万国外科学会と密接に関係するようになったのは2011年に横浜で開催されたISW2011がきっかけとなっています。それ以前も散発的に参加しておりましたが、北島政樹先生、渡邊昌彦先生、北野正剛先生、北川雄光先生にご指導頂き本格的に参加するようになりました。丁度、今年10年後にも関わらず震度6強の余震が起こった東日本大震災の年でありましたが、予定通り開催が決定され、無事盛會に終わった、記憶に残る学会でした。激甚災害からの復活を彷彿とさせる会だったと思います。渡邊先生がLOC会長であり、本当にご苦労されたと思います。そのご苦労にはただただ頭が下がる思いであります。折しも、今年皆様のご支援により第121回日本外科学会定期学術集會会頭を務めさせていただいております。全く異なるタイプの災害にはなりますがCOVID-19感染拡大が収束しない状態での開催を迎え、今更のようにそのご苦労が実感させられます。事務局として大活躍された片田夏也先生とは個人的にも親しくさせていただいたので、今年の外科学会に参加されないことはたいへん残念に思います。

2013年のHelsinkiでの学会は人生初めてのフィンランドへの訪問であり、

クルージングツアーを体験したり、それまでのイメージと全く異なるHelsinkiを体感でき、学会でのbrain stormingはもちろんのこと、それ以外の部分でも満喫した大会でした。2015年のタイでの大会には大学の用務で参加できなかったのですが、2017年のBaselでの大会は日本食道学会理事長を拝命していた時で、ISDS main sessionにて発表の機会をいただき、日本食道学会の食道癌取扱い規約第17版が出版され、その英語版がEsophagus誌に掲載された年だったこともあり、鎖骨上リンパ節転移・郭清の意義について発表し、世界の多くの医師から興味・関心をもって頂きました。たいへん有意義な機会だったと思っております。前回2019年のKrakowも自分としては初めてのポーランドであり、丁度世界肥満症外科学会(IFSO)がMadridで開催され、1ヶ月の間に2度も欧州を往復することになりました。Krakowではアウシュビッツまで足を伸ばし、収容所を見学し、Madridでのゲルニカとともに戦争によるヒトが引き起こす災害が招く悲惨な状況を目の当たりにし、最近増加していると感じられる避けることのできない自然災害を体験する中、人が引き起こす災害は何としても起こしてはならないと心新たにしました。

Krakowの学会はつい先日のような気がしますが、今では本当に遠くなってしまった国際学会参加です。技術の進歩によりWEBでの国際学会参加は日本に居ながら可能になりました。しかしながら、やはり現地開催の魅力は捨てきれません。今年開催予定だったKuala Lumpurでの大会も2022年に延期されましたが、予定通り開催され、とても暑い気候の中、Japan Nightにおいて皆様と直接お目にかかり冷たいビールで乾杯することを熱望しています。

万国外科学会の思い出

藤田医科大学
先端ロボット・内視鏡手術講座
教授

宇山 一郎



この度、万国外科学会の思い出に関する寄稿のご依頼をいただき、国際学会についていろいろと昔の事を振り返ってみました。私が初めて国際学会に参加したのは、1998年にイタリアローマで開催された6th World Congress of Endoscopic Surgeryでした。1997年5月に藤田保健衛生大学(現藤田医科大学)に赴任し、胃癌に対する完全腹腔鏡手術に取り組みました。その手技を当時の上司であった杉岡 篤先生(当時旧藤田保健衛生大学第一外科准教授)が私の知らないうちに口演演題に応募し採択されてしまい、38歳にして遅咲きの国際学会発表デビューとなりました。当時パスポートすら持っておらず、留学経験もなく、英語が苦手な私にとって、口演発表は非常にストレスでした。プレゼンテーション自体は英語原稿を準備していきましたが、全くヒアリングができない私は発表後の質疑応答に慄きながらローマの地に立ったのでした。セッションの座長は2名で1名のイタリア人は欠席不在でしたが、残りのお一人の座長がなんと日本人、金平永二先生(現在、メディカルピア草加病院院長)でした。案の定、会場からの質問が聞き取れず、質疑応答に難渋しましたが、座長の金平先生から質問内容を日本語で教えていただき、何とかその修羅場をくぐり抜けることができました。私は自分の強運を喜んだと同時に、金平先生が同期(1985年卒)であること知り、この語学力の差に愕然とし、帰国後は、長続きはしませんでした。英語力向上の努力を行い、現在に至りますが、

その効果は殆どなく英語は全く上達しませんでした。しかし場数は経験したため、度胸と図々しさは鍛えられ、何とか国際学会での発表を現在までこなしてきた次第です。さて、前置きが長くなりましたが、私の万国外科学会の思い出について述べさせていただきます。初めて万国外科学会に参加したのは故北島政樹先生が開催された2007年のモントリオールでの学会でした。その2年後の2009年にオーストラリアのアデレードで開催された学会にも参加しました。学会参加はそこそことし、手術見学のためシドニーに移動しました。そこで、公立病院で病的肥満症に対するバンディング手術を見学させていただきました。シドニーの公立病院では、納税していれば、医療費は一切不要とを知り驚かされました。この病院の裏には、自費診療の私立病院があり、手術の若手執刀医が「この公立病院で手術の腕を磨き、いつか裏にある私立病院にヘッドハンティングされ、高給取りになるのが夢である」と、目輝かせて話しているの聞いて、そのハンタリー精神にも驚かされたことを覚えています。そして、少し足を延ばし、ワイナリー巡りをし、写真にあるレストランで、カンガルーの肉を始めて賞味し、楽しい時間を過ごしました。

現在は新型コロナウイルス感染拡大のため、国際学会参加も厳しいですが、万国外科学会は若手外科医の国際学会発表の場としては、うってつけの学会だと思います。英語が苦手でも、なんとかなるものです。是非多くの若手の先生が参加してくることを願っております。



万国外科学会の思い出

愛知医科大学
消化器外科学講座 教授

佐野 力



2014年より愛知医科大学外科学講座で消化器外科教授を務めさせて頂いている佐野でございます。私が万国外科学会に初めて参加させていただいたのは、愛知県がんセンター在任中の2013年、ヘルシンキで開催された時でした。2019年、PolandのKrakowで開催された48回大会には医局員とともに3人で参加させて頂きました。国際学会で発表をする機会は少なからずありましたが、座長の仕事を与えられることは稀であり、外国人医師との共同司会は、大変貴重な経験となりました。Japan Nightでは多くの高名な先生方と親交を深め、情報交換することが出来ました。素敵な会場で手作り感のある、まさにat homeな会を催していただき、北野正剛先生、今野弘之先生をはじめとする関係者の方々に心より感謝申し上げる次第です。宿泊したホテルはKrakowの旧市街地にあり、東欧の中世を感じられる趣のある街を楽しむことが出来ました。食事も美味しく、またいつか機会があれば再訪したいと思わせてくれる街並みでした。滞在の合間を縫ってアウシュビッツ強制収容所に訪れてきました。米国のホロコースト記念博物館を訪れた経験はありましたが、スケールの異なる重すぎるほどの負の遺産を目の当たりにして異様な感覚を覚え、改めて感じたことが人命の尊厳でした。外科医としての矜持を持って医療に邁進することを改めて心に刻んで史跡をあとにしました。

2020年は100年に一度、スペイン風邪以来の重篤な感染症COVID-19のpandemicにより世界の状況は激変しました。緊急事態宣言、都市のロックダウンという初めての状況を目の当たりにし、COVID-19による2週間の診療停止も経験し、自分が平和ボケしていたと痛感しました。院内のICUはコロナ感染症対応が可能のように内装を変更され、物々しい有様となってしまいました。我が国がデジタル後進国、ワクチン後進国などという不名誉な称号を拝することとなり、そのような事態を十分に認識していなかった自身の無知を恥じることもなりました。多くの学会が延期・中止されるなか第120回外科学会が北川雄光先生のもとWeb開催で成功をおさめ、その後の学会の開催形式について様々な示唆を与え、多くの学会・研究会がWeb開催となりました。大変なご苦勞をされたことは想像に難くありません。いつになれば対面での学会集會が行われるのか、招宴などでの

情報交換が可能になるのか現時点で予断は許しません。2021年になり、第3波の感染の中、いよいよ医療者に対するコロナワクチンの接種が始まりましたが、国民の中には3種混合ワクチン接種に対する副作用問題でワクチン接種に対する負の感情を抱く方もおられ、子宮頸がんに対するワクチン接種も思うようには進んでいない現状があります。強要するのではなく、医療者としてワクチン接種の有用性を啓蒙していく必要があると感じています。

それほど遠くない時期に、対面の学会集會開催の時は訪れるものと期待し、万国外科学会日本支部の更なる発展を遂げることに少しでも寄与させて頂くことが出来ればと考えております。



自然と健康を科学する。漢方のツムラです。

株式会社ツムラ

<https://www.tsumura.co.jp/>

●資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970
【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

(2019年8月制作) RVCAx01-A

視認性と吸収性が求められる術後創へ

ロイコメドC
フィルムドレッシング

ハイドロゲルパッドが
視認性と吸水性を提供

- 創の観察を容易にする視認性
- 湿潤環境を維持するための適度な吸水性
- 固定性と肌への優しさ

THERAPIES. HAND IN HAND.

一般的名称: 創傷絆創膏 / 販売名: ロイコメドC フィルムドレッシング / 医療機器届出番号: 13B1X10103000034

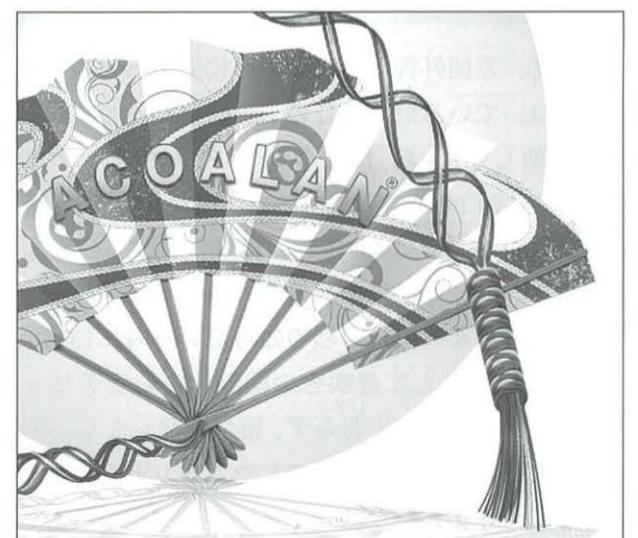
TERUMO

テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1 www.terumo.co.jp

BSN medical

詳細は添付文書をご参照ください

TERUMOはテルモ株式会社の商標です。
Leukomedはビーエスエヌ・メディカル社(ドイツ)の登録商標です。
©テルモ株式会社 2016年6月



血液凝固阻止剤

アコアラン® 静注用600・1800

ACOALAN® Injection 600国際単位、1800国際単位 / バイアル
アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え)静注用

【生物由来製品】 【処方箋医薬品】 (注意: 医師等の処方箋により使用すること) 【薬価基準収載】

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元

協和キリン株式会社
東京都千代田区大手町1-9-2

販売元

一般社団法人
jB 日本血液製剤機構
東京都港区芝浦3-1-1

ACO-202101

【文献請求先及び問い合わせ先】 日本血液製剤機構 くすり相談室
〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-1 医療関係者向け製品情報サイト <https://www.jbpo.or.jp/med/di/>

万国外科学会を刺激に

聖路加国際病院
乳腺外科部長・ブレストセンター長

山内 英子



2021年2月現在、世界は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながら、新しい生活様式を模索しています。2019年の8月にポーランドのクラクフで行われた万国外科学会が、今振り返ると遠い昔の夢のようなことであったとさえ思われます。あの様に異国の地で、世界中から外科医が集い、共に意見を交わしながら、また夜にはお酒や食事を交えて、それぞれの国の状況を学びあったり、真剣にディスカッションしたり、そのような時を持つことが当然と考えていたものが、このウイルスと言う状況によって一変し、本当に貴重な機会だったと思ひ起こされます。

私自身は2019年に初めて万国外科学会に参加させていただきました。Breast Surgery InternationalのCouncil Memberであられる日本乳癌学会理事長の井本先生よりご推薦いただき、発表する機会をいただきました。世界中の外科医が集まりますので、乳癌領域に関する世界ではどのようなことが行われているのか、そこにおける日本の立ち位置はどのような状況なのかなどを勉強できるまたとない機会でした。現地では、日本支部主催で行われたJapan Nightにも参加させていただき、そこで日本から参加された乳癌領域のみでなく他の領域の外科の先生方との交流を持てたことも大きな刺激となりました。またJapanese Association of Women SurgeonsとAssociation of Women Surgeonsの共同開催の朝食会では世界中の女性外科医の方々と意見を交わすこともできました。特に前会長でおられた方は乳腺外科医であり、ご自身も乳癌のサバイバーとのことで、色々な意味で大きな刺激をいただきました。

印象的だったのは、若手の先生方へのTravel Scholarsの表彰です。多



2019年8月Japanese Association of Women SurgeonsとAssociation of Women Surgeonsの共同開催の朝食会でのひとこま

くの方がそれを祝いながら、とても重きをもって行われていたことでした。受賞される若い方は肌の色も違い、国籍も様々、性別も様々、まさに多様性に溢れた場面でした。東京で開催される予定のオリンピックが検討されている今、万国外科学会はまさに外科医のオリンピックの場であるとさえ考えられます。その場において、日本支部からのYokohama Awardの授賞式も行われましたが壇上に上がった日本人の受賞者が男性のみであった事に少し違和感を覚えてしまったことは否めませんでした。世界に比べて日本の女性外科医はもっともっと精進しなければと刺激を受けた一面でもありました。

今、この新型コロナウイルス感染症がどうなるのか、また学会なども開催様式が新たになる中で、万国外科学会がどのような方向に進んでいくのか、検討の時期にあると思いますが、若い方々が、世界に目を向け、世界を知り、そこから刺激を得て成長していく事はとても大切だと実感しております。引き続き万国外科学会日本支部が、ますます用いられることを祈念しております。

International Surgical Week (ISW)2022

2022年8月28日 - 9月1日 Kuala Lumpur
ご案内

2022年8月28日(日) - 9月1日(木)の5日間、マレーシアのクアラルンプールにおきまして、International Surgical Week (ISW) 2022が開催されます。日本の皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

※2021年に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い延期が決定いたしました。

～クアラルンプール～

地元では「KL (ケーエル)」の愛称で親しまれる首都・クアラルンプール。旧クアラルンプール駅を中心に広がる英国統治時代の美しい建築物とペトロナスツインタワーをはじめとする近代建築と自然が見事に調和された美しい都市です。市内は交通機関が充実しており、主な観光スポットへは公共交通機関でアクセスが可能です。



- 主な日程 (予定) 学術集会 8月28日～9月1日
- 8月28日(日) 17:00 オープニングセレモニー・レセプション
 - 20:00 Japan Night (日本人参加者懇親会)
 - 8月29日(月) 8:00 Travel Scholars 紹介
 - 19:00 Kuala Lumpur Night (全体懇親会)
 - 8月30日(火) 19:00 ISDS, IAES, IATSIC, BSI, ASAP, IASMEN
各学会夕食会
 - 8月31日(水) 12:15 ISS/SIC 総会

演題登録締め切り 2022年1月28日(金)

日本支部のウェブサイトにも随時情報を掲載します。http://wss-jp.org/

Yokohama Award

5名程度 Award 一人当たり 10万円

ISS/SIC 日本支部は、日本からの若手外科医のWCSの参加を支援しています。応募条件は、応募時点で40歳以下の日本人外科医で、①ISW2022クアラルンプールにOralの演題を提出、かつ②ISS/SIC日本支部会員からの推薦があること、です。詳細は日本支部のウェブサイトをご参照ください http://www.wss-jp.org/



日本標準品分類番号 874291

抗悪性腫瘍剤 / 抗PD-L1^{注1)}ヒトモノクローナル抗体
生物由来製品、製薬、処方箋医薬品^{注2)}

テセントリク[®] 点滴静注 1200mg

TECENTRIQ[®]
atezolizumab

アテゾリズマブ (遺伝子組換え) 注
注1) PD-L1 (Programmed Death-Ligand 1)
注2) 注意-説明書の処方箋への使用に関すること

※効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意、効能・効果に関連する使用上の注意、用法・用量に関連する使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。 ©F. ホフマン・ラ・ロシュ社 (スイス) 登録商標

製造販売元 CHUGAI 中外製薬株式会社 (資料請求先) メディカルインフォメーション部
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1 TEL. 0120-140564 FAX. 0120-189705

ロシュグループ 2019年3月作成

第49回万国外科学会(ISS/SIC)日本支部総会 議事録
2020年10月31日(土曜日)午前7:15~8:00 WEB開催

参加登録者：今井常夫、井本 滋、宇山一朗、海野倫明、榎本圭佑、岡本高宏、織田 順、片井 均、菊地勝一、菊池寛利、北川雄光、北野正剛、小池直人、小谷穰治、小林道也、小山知秀、今野弘之、島田英昭、島田光生、高木 弘、竹内裕也、竹政伊知朗、田中淳一、田邊 稔、寺島雅典、中村卓郎、中山真美、長田栄一、夏越祥次、西田俊朗、野村幸世、馬場秀夫、原口義座、比企直樹、福島亮治、藤田 尚、前田茂人、松原久裕、松本純夫、水本龍二、溝端康光、宮内 昭、村尾佳則、守瀬善一、矢永勝彦、山口茂樹、山下浩二、山下洋一、横江隆夫、吉田 寛、吉田和弘、和田則仁 (敬称略、五十音順、計52名) (事務局：猪瀬純子)

1. 支部長あいさつ：今野弘之日本支部長

朝早くからこのような状況にも関わらずご参加頂き、感謝をお伝えしたい。皆様のお顔を久々に拝見し、とても元気になった。一人一人にご挨拶を頂きたいところだが、代表して前理事長の北野先生と前々理事長の北川先生に最近の状況をお話して頂けるとありがたい。

：北野正剛先生

初めてISSの支部会をWEBで行うということで記憶に残る会となるだろう。皆様の元気な顔を見られて大変嬉しく思う。メールやWEBを通して今野会長が対応されるということは大変なご苦勞であるが、この時代を乗り越えて更なるISSの発展に期待をしている。

：北川雄光先生

このような困難な状況で国際的な連携を守るという事は、本当に大変なことである。先日WEBで外科学会を終了したが、やはり皆様にお会いしたかったのが本音である。現在、胸部外科と臨床外科が同時並行で開催されているが支障なく参加出来てしまっている。いろいろな良い面と悪い面があり、国際学会は複雑な状況ではあるが良い方向に向かうよう、皆様とまたお目にかかれるよう祈っている。

2. 支部活動報告

3. 決算・予算案

原案通り承認された。

4. ISS/SIC 理事会報告 / International Surgical Week (ISW)2022 について：今野日本支部長

WCS2021は2022年に延期決定。ただし、2021年もバーチャルでの活動を計画。次々回のメキシコは2024年に延期の予定。2026年の開催地はアフリカとの声があがっている。低中所得国の外科に対して支援をしたいという思いが、事務局長のKen Boffard先生を中心に強い。

5. 現会則の改定案について：和田事務局長

現会則は1997年に発布され、その後改正されていなかったが日本支部活動の現状に合わせ会則を見直した。HP内に現会則と改正案を掲載しているため、ご確認を頂き、次回4月の支部総会でご意見を頂きたい。

6. Collective Member Societies

■ ISDS 田邊 稔先生

昨年、ポーランドのクラブにて今野先生が会長となりISSの一学会として盛会にて終える事が出来た。年末のACSで役員会があり、その時はコロナ禍になかったので次回マレーシアへの準備をすすめていたが、今年に入りこのような状況になりいろいろ変化があった。今年に入って2回行われた理事会での内容を報告したい。新しいプレジデントはアメリカのFichera先生、日本からの役員は今野先生がPast president、Vice presidentに熊本の馬場先生と田邊、上尾中央病院の若林先生がCouncilorとして任命されている。ISDSの構造が分かりやすいようにパンフレットを作成し、メンバーズコミティーの収集に努めている。WCSが2022年に延期され間があいてしまうので、新会長のFichera先生の提案により、世界中の若い外科医に向けてWEBセミナーの開催が決まった。具体的には、臓器ごとに基本的なWEBセミナーを3つずつ作り、一気にやるのではなく何ヶ月かかけて開催。担当者やプログラムは調整中。必要な方々にご発言を頂きたい。ISDSの中で日本人の会員は多い方ではあるが減少傾向でもあるので、パンフレットを活用し、次回のクアラルンプールでの会に向け会員を増やしていきたい。

■ IAES：宮内 昭先生

内分泌外科を志す若手の先生を対象とした、Post Graduate コースを1年ごとに開催している。昨年は中国の厦門で開催された。今年はシンガポールで開催予定であったが11月にWEBでの開催となる。

■ IASMEN：小谷穰治先生

ISW2022に向けてプログラムの内容、登壇者とも決定している。6セッションのうち5セッションは他とのコラボレーションで1セッションを単独で開催予定。また今年から会員を増やす為にSNSチャンネルを開設。今後、日本からの発信も増やしていきたい。

■ IATSIC：藤田 尚先生

トレーニングに関してはすべてとまっている。ISW2022に向け日本からの演題は5題推薦している。

■ BSI：井本 滋先生

例会通り、総会前に教育コースとしてオンコプラスティック手術と乳房再建術が企画されている。総会は手術療法、術前化学療法、リスク低減手術、アジア人の乳癌疫学など、シンポジウム、デフィバートなど検討されている。

■ WJS：片井 均先生

投稿件数は毎日8件程度に増加。20%程度のアクセプト率を設定しており方針は変わっていない。今年はコロナの影響もあり投稿数は米国を抜いて日本が1位となっているが、アクセプトされているのは米国が多くその後日本が続いている。インパクトファクターは若干下がっているが、外科系の雑誌の中では210雑誌中の25位に入っており、今後もフェイスブックの工夫やインバイテッドコメントリーを増やすなどしていきたい。

以上 (文責 和田則仁)

会員動向 (2021年3月1日現在)

会員数	321 (新規会員 4名)
内訳	正規会員 293名 シニア会員 26名 名誉会員 2名

1. 支部活動報告 (2020年1月~12月)

- 2020.4.1 万国外科学会(ISS/SIC)日本支部ニュース第50号発行
- 2020.11.1 万国外科学会(ISS/SIC)日本支部ニュース第51号発行
- 2020.10.31 第49回万国外科学会(ISS/SIC)日本支部総会 (WEB開催)
- 2020.12 SS Foundationへ寄附金1000ドルを送付
新監事就任依頼
医療法人 神甲会隈病院 院長 宮内 昭先生

2020年度決算書

2020年度収支決算書 (2020年1月1日~12月31日)

日本円の部			
単位：円			
I 収入の部	予算額	決算額	備考
会費	700,000	652,372	内訳 USD3585.60 / USD2506.00
広告掲載料	800,000	500,000	
寄付	0	0	
雑収入	0	76	
当期合計	1,500,000	1,152,448	
前年度繰越金	8,975,561	8,975,561	
収入合計	10,475,561	10,128,009	
II 支出の部			
会議費	380,000	0	支部総会開催は中止・秋はWEB開催
通信費	150,000	185,058	
印刷費	370,000	319,000	支部ニュース50号・51号
文具費	5,000	12,837	
交通費	40,000	1,006	
人件費	520,000	525,000	
雑費	15,000	13,600	
予備費	20,000	0	
Yokohama Award 賞金			
支出合計	1,500,000	1,056,501	
収支残高	8,975,561	9,071,508	次年度繰越金

USドルの部			
単位：ドル			
I 収入の部	予算額	決算額	備考
会費	7200.00	0	日本円の口座に直接入金した為
利息	0	3.95	
前年度繰越金	4133.83	4133.83	
収入合計	11333.83	4137.78	
II 支出の部			
日本円へ預替	6200.00	0	日本円の口座に直接入金した為
スイス本部への寄附	1000.00	1000.00	
支出合計	7200.00	1000.00	
次年度繰越金	4133.83	3137.78	

残高 日本円 9,071,513円 (通帳残高 9,062,483円 + 現金 9,030円)
USドル 3137.78ドル (通帳残高 3137.78ドル)
※2011年 ISW2011 横浜より YOKOHAMA AWARD 賞金として剰余金 (7,812,000円) を寄附

ISS/SIC 万国外科学会 日本支部

2021年2月1日 監事 海野倫明 (印)
2021年2月15日 監事 宮内昭 (印)

2021年度予算案

2021年 予算案 (2021年1月1日~12月31日) ISS/SIC

日本円の部		
単位：円		
収入の部	予算額	備考
ドルから預替	700,000	6300ドル 1ドル110円で計算
広告掲載料	500,000	5社 x 2回
寄付	0	
雑収入	0	
利息	0	
当期合計	1,200,000	
前年度繰越金	9,071,508	
収入合計	10,271,508	
支出の部		
会議費	100,000	支部総会2回分
通信費	150,000	
印刷費	370,000	支部ニュース2回発行分
文具費	5,000	
交通費	10,000	
人件費	520,000	
雑費	15,000	
予備費	30,000	
Yokohama Award 賞金		
支出合計	1,200,000	
収支残高 (次年度繰越金)	9,071,508	

ドルの部		
単位：ドル		
収入の部	予算額	備考
会費	6000.00	USD 45 x 138 (2020年会員支払人数) - 4%チャージ
利息	0	
繰越金	3137.78	
収入合計	9137.78	
支出の部		
日本円へ預替	6300.00	
ISS Foundation 寄付	1000.00	
支出合計	7300.00	
次年度繰越金	1837.78	

プロトンポンプ・インヒビター
エソメプラゾールマグネシウム水和物カプセル・懸濁用顆粒

ネキシウム® カプセル10mg/20mg
懸濁用顆粒分包装10mg/20mg

薬価基準収載 処方箋医薬品(注)
注) 注意 - 医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

販売元(文献請求先及び問い合わせ先を含む)
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1



製造販売元(資料請求先)
アストラゼネカ株式会社
大阪市北区大深町3番1号
0120-189-115
問い合わせセンター

2019年11月作成